

3 社会科の学習の系統

(1) 地理的内容についての学習

*それぞれの単元の学習に生かせる既習事項はどのようなことか、それぞれの単元で学んだことがその後の学習でどのように生かせるのか、参考にしてください。
*それぞれの単元に対応する「7 小学校」「8 中学校」のページが示してあります。

小学校 3・4年生

<p>(1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市(町)</p> <p>について、</p> <p>ア 身近な地域や市(町)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを、</p> <p>観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、</p> <p>地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。</p>	<p>(2) 地域の人々の生産や販売</p> <p>について、</p> <p>ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること</p> <p>イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわりを、</p> <p>見学したり調査したりして調べ、</p> <p>それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。</p>	<p>(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理</p> <p>について、</p> <p>ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり</p> <p>イ これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること</p> <p>を、</p> <p>見学、調査したり資料を活用したりして調べ、</p> <p>これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。</p>	<p>(4) 地域社会における災害及び事故の防止</p> <p>について、</p> <p>ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること</p> <p>イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること</p> <p>を、</p> <p>見学、調査したり資料を活用したりして調べ、</p> <p>人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。</p>	<p>(6) 県の様子</p> <p>について、</p> <p>ア 県内における自分たちの市(町)及び我が国における自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置</p> <p>イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置</p> <p>ウ 県内の特色ある地域の人々の生活</p> <p>エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわりを、</p> <p>資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、</p> <p>県を調べるようにする。</p>
--	---	---	---	---

小学校 5年生

<p>(1) 我が国の国土の自然などの様子</p> <p>について、</p> <p>ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土</p> <p>イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活</p> <p>ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ</p> <p>エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止</p> <p>を、</p> <p>地図や地球儀、資料などを活用して調べ、</p> <p>国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。</p>	<p>(2) 我が国の農業や水産業</p> <p>について、</p> <p>ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること</p> <p>イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など</p> <p>ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き</p> <p>を、</p> <p>調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、</p> <p>それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや、自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。</p>	<p>(3) 我が国の工業生産</p> <p>について、</p> <p>ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること</p> <p>イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など</p> <p>ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き</p> <p>を、</p> <p>調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、</p> <p>それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。</p>	<p>(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子</p> <p>について、</p> <p>ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり</p> <p>イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりを、</p> <p>調査したり資料を活用したりして調べ、</p> <p>情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。</p>
--	--	---	--

小学校 6年生

<p>(3) 世界の中の日本の役割</p>	<p>ア 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子</p> <p>イ 我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き</p>	<p>を、</p> <p>調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、</p>	<p>外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えるようにする。</p>
------------------------------	--	--	--

中学校 地理的分野

<p>(1) 世界の様々な地域</p>				<p>(2) 日本の様々な地域</p>			
<p>ア 世界の地域構成</p> <p>地球儀や世界地図を活用し、</p> <p>緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、</p> <p>世界の地域構成を大観させる。</p>	<p>イ 世界各地の人々の生活と環境</p> <p>世界各地における人々の生活の様子とその変容</p> <p>について、</p> <p>自然及び社会的条件</p> <p>世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。</p>	<p>ウ 世界の諸地域</p> <p>世界の諸地域</p> <p>について、</p> <p>以下の(ア)から(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、</p> <p>それを基に主題を設けて、</p> <p>それぞれの州の地域的特色を理解させる。</p> <p>(ア)アジア (イ)ヨーロッパ (カ)アフリカ (キ)北アメリカ (ク)南アメリカ (ク)オセアニア</p>	<p>エ 世界の様々な地域の調査</p> <p>世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、</p> <p>様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、</p> <p>世界の地理的認識を深めさせるとともに、</p> <p>世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。</p>	<p>ア 日本の地域構成</p> <p>地球儀や地図を活用し、</p> <p>我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、</p> <p>日本の地域構成を大観させる。</p>	<p>イ 世界と比べた日本の地域的特色</p> <p>世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色</p> <p>を取り上げ、</p> <p>我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。</p> <p>(ア) 自然環境 (イ) 人口 (ウ) 資源・エネルギーと産業 (エ) 地域間の結び付き</p>	<p>ウ 日本の諸地域</p> <p>日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域</p> <p>について、</p> <p>以下の(ア)から(カ)で示した考察の仕方</p> <p>を基にして、</p> <p>地域的特色を捉えさせる。</p> <p>(ア) 自然環境を中核とした考察 (イ) 歴史的背景を中核とした考察 (ウ) 産業を中核とした考察 (エ) 環境問題や環境保全を中核とした考察 (カ) 人口や都市・村落を中核とした考察 (キ) 生活・文化を中核とした考察 (ク) 他地域との結び付きを中核とした考察</p>	<p>エ 身近な地域の調査</p> <p>身近な地域における諸事象を取り上げ、</p> <p>観察や調査などの活動を行い、</p> <p>生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、</p> <p>地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに、</p> <p>市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。</p>

高等学校 地理A

<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界</p> <p>イ 世界の生活・文化の多様性</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察</p>	<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図</p> <p>イ 自然環境と防災</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査</p>
--	--

高等学校 地理B

<p>(1) 様々な地図と地理的技能</p> <p>ア 地理情報と地図</p> <p>イ 地図の活用と地域調査</p>	<p>(2) 現代世界の系統地理的考察</p> <p>ア 自然環境</p> <p>イ 資源、産業</p> <p>ウ 人口、都市・村落</p> <p>エ 生活文化、民族・宗教</p>	<p>(3) 現代世界の地誌的考察</p> <p>ア 現代世界の地域区分</p> <p>イ 現代世界の諸地域</p> <p>ウ 現代世界と日本</p>
--	---	--

*それぞれの単元の学習に生かせる既習事項はどのようなことか、それぞれの単元で学んだことがその後の学習でどのように生かせるのか、参考にしてください。
*それぞれの単元に対応する「7 小学校」「8 中学校」のページが示してあります。

(2) 歴史的内容についての学習

小学校 3・4年生

p.65~67

(5) 地域の人々の生活

について、

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

を、見学、調査したり年表にまとめたりして

調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心

を考えるようにする。

小学校 6年生

p.90~99

(1) 我が国の歴史上の主な事象

について、

人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して

調べ、

歴史を学ぶ意味

を考えるようにするとともに、

自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働き

について理解と関心を深めるようにする。

ア 狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べ、大和朝廷による国土の統一の様子
が分かること。その際、神話・伝承を調べ、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

イ 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活について調べ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことが分かること。

ウ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことが分かること。

エ 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、室町文化が生まれたことが分かること。

オ キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

カ 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。

キ 黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。

ク 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。

ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

中学校 歴史的分野

p.140~142

(1) 歴史のとらえ方

ア 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。
ウ 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して、各時代の特色を捉えさせる。

イ 身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる。

p.143~146

(2) 古代までの日本

ア 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。
イ 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。
ウ 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを通して、国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを理解させる。

p.147~148

(3) 中世の日本

ア 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。
イ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。

p.149~152

(4) 近世の日本

ア 戦国の動乱、ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを通して、近世社会の基礎がつけられていったことを理解させる。
イ 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子、鎖国下の対外関係などを通して、江戸幕府の政治の特色を考えさせ、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。

ウ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。
エ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。

p.153~161

(5) 近代の日本と世界

ア 欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。
イ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。
ウ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。

エ 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。
オ 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。
カ 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを通して、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。

p.162~164

(6) 現代の日本と世界

ア 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。
イ 高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。

高等学校 日本史A

(1) 私たちの時代と歴史

ア 近代国家の形成と国際関係の推移
イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢
ウ 近代の追究

(2) 近代の日本と世界

ア 近代国家の形成と国際関係の推移
イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢
ウ 近代の追究

(3) 現代の日本と世界

ア 現代日本の政治と国際社会
イ 経済の発展と国民生活の変化
ウ 現代からの探究

高等学校 日本史B

(1) 原始・古代の日本と東アジア

ア 歴史と資料
イ 日本文化の黎明と古代国家の形成
ウ 古代国家の推移と社会の変化

(2) 中世の日本と東アジア

ア 歴史の解釈
イ 中世国家の形成
ウ 中世社会の展開

(3) 近世の日本と世界

ア 歴史の説明
イ 近世国家の形成
ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容

(4) 近代日本の形成と世界

ア 明治維新と立憲体制の成立
イ 国際関係の推移と立憲国家の展開
ウ 近代産業の発展と近代文化

(5) 両世界大戦期の日本と世界

ア 政党政治の発展と大衆社会の形成
イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会
ウ 第二次世界大戦と日本

(6) 現代の日本と世界

ア 現代日本の政治と国際社会
イ 経済の発展と国民生活の変化
ウ 歴史の論述

高等学校 世界史A

(1) 世界史へのいざない

ア 自然環境と歴史
イ 日本列島の中の世界の歴史

(2) 世界の一体化と日本

ア ユーラシアの諸文明
イ 結びつく世界と近世の日本
ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成
エ アジア諸国の変貌と近代の日本

(3) 地球社会と日本

ア 急変する人類社会
イ 世界戦争と平和
ウ 三つの世界と日本の動向
エ 地球社会への歩みと課題
オ 持続可能な社会への展望

高等学校 世界史B

(1) 世界史への扉

ア 自然環境と人類のかかわり
イ 日本の歴史と世界の歴史のつながり
ウ 日常生活にみる世界の歴史

(2) 諸地域世界の形成

ア 西アジア世界・地中海世界
イ 南アジア世界・東南アジア世界
ウ 東アジア世界・内陸アジア世界
エ 時間軸からみる諸地域世界

(3) 諸地域世界の交流と再編

ア イスラーム世界の形成と拡大
イ ヨーロッパ世界の形成と展開
ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界
エ 空間軸からみる諸地域世界

(4) 諸地域世界の結合と変容

ア アジア諸地域の繁栄と日本
イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界
ウ 産業社会と国民国家の形成
エ 世界市場の形成と日本
オ 資料からよみとく歴史の世界

(5) 地球世界の到来

ア 帝国主義と社会の変容
イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現
ウ 米ソ冷戦と第三世界
エ グローバル化した世界と日本
オ 資料を活用して探究する地球世界の課題

*それぞれの単元の学習に生かせる既習事項はどのようなことか、それぞれの単元で学んだことがその後の学習でどのように生かせるのか、参考にしてください。
*それぞれの単元に対応する「7 小学校」「8 中学校」のページが示してあります。

(3) 公民的内容についての学習

小学校 3・4年生

p.55, 56

(1) **自分たちの住んでいる身近な地域や市(町)**
 ア 身近な地域や市、町の特徴ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを、観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、
 「地域の様子は場所によって違いがあること」を考えるようにする。

(2) **地域の人々の生産や販売**
 ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること
 イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわりを、見学、調査したり資料を活用したりして調べ、
 「それらの仕事に携わっている人々の工夫」を考えるようにする。

(3) **地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理**
 ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり
 イ これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること
 「見学、調査したり資料を活用したりして調べ、
 これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていること」を考えるようにする。

(4) **地域社会における災害及び事故の防止**
 ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること
 イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること
 「見学、調査したり資料を活用したりして調べ、
 人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力」を考えるようにする。

(6) **県の様子**
 ア 県内における自分たちの市(町)村及び我が国における自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置
 イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置
 ウ 県内の特色ある地域の人々の生活
 エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわりを、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、
 「県内の特色」を考えるようにする。

小学校 5年生

p.75~78

(1) **我が国の国土の自然などの様子**
 ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土
 イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活
 ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ
 エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止
 「地図や地球儀、資料などを活用して調べ、
 国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていること」を考えるようにする。

(2) **我が国の農業や水産業**
 ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること
 イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など
 ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き
 「調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、
 それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることと自然環境と深いかかわりをもって営まれていること」を考えるようにする。

(3) **我が国の工業生産**
 ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること
 イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など
 ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き
 「調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、
 それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていること」を考えるようにする。

(4) **我が国の情報産業や情報化した社会の様子**
 ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり
 イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわりを、調査したり資料を活用したりして調べ、
 「情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であること」を考えるようにする。

小学校 6年生

p.100~102

(2) **我が国の政治の働き**
 ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること
 イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること
 「調査したり資料を活用したりして調べ、
 国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること」を考えるようにする。

(3) **世界の中の日本の役割**
 ア 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子
 イ 我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き
 「調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、
 外国人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていること」を考えるようにする。

中学校 公民的分野

p.168~171

(1) **私たちと現代社会**
 ア **私たちが生きる現代社会と文化**
 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられること
 「それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること」に気付かせる。また、
 「現代社会における文化の意義や影響」を理解させるとともに、
 「我が国の伝統と文化」に関心をもたせ、
 「文化の継承と創造の意義」に気付かせる。
 イ **現代社会をとらえる見方や考え方**
 人間は本来社会的存在であること
 「に着目させ、
 「社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義」について考えさせ、
 「現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正など」について理解させる。
 その際、
 「個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任など」に気付かせる。

(2) **私たちと経済**
 ア **市場の働きと経済**
 身近な消費生活を中心に経済活動の意義
 「理解させるとともに、
 「価格の働き」に着目させて
 「市場経済の基本的な考え方」について理解させる。また、
 「現代の生産や金融などの仕組みや働き」を理解させるとともに、
 「社会における企業の役割と責任」について考えさせる。その際、
 「社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善」について、
 「勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考えさせる。
 イ **国民の生活と政府の役割**
 国民生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割
 「について考えさせる。また、
 「財源の確保と配分」という観点から
 「財政の役割」について考えさせる。
 その際、
 「租税の意義と役割」について考えさせるとともに、
 「国民の納税の義務」について理解させる。

(3) **私たちと政治**
 ア **人間の尊重と日本国憲法の基本的原則**
 「人間の尊重についての考え方」を、
 「基本的人権」を中心に深めさせ、
 「法の意義」を理解させるとともに、
 「民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であること」を理解させ、
 「我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義」について考えさせる。また、
 「日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること」についての理解を深め、
 「日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為」について理解させる。
 イ **民主政治と政治参加**
 地方自治の基本的な考え方
 「について理解させる。その際、
 「地方公共団体の政治の仕組み」について理解させるとともに、
 「住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎」を育てる。また、
 「国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割」を理解させ、
 「議会制民主主義の意義」について考えさせるとともに、
 「多数決の原理とその運用の在り方」について理解を深めさせる。さらに、
 「国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること」について理解させるとともに、
 「民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連」について考えさせる。その際、
 「選挙の意義」について考えさせる。

(4) **私たちと国際社会の諸課題**
 ア **世界平和と人類の福祉の増大**
 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であること
 「を認識させ、
 「国際社会における我が国の役割」について考えさせる。その際、
 「日本国憲法の平和主義」について理解を深め、
 「我が国の安全と防衛及び国際貢献」について考えさせるとともに、
 「核兵器などの脅威」に着目させ、
 「戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度」を育てる。また、
 「地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であること」を理解させる。
 イ **よりよい社会を目指して**
 「持続可能な社会を形成する」という観点から、
 「私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考え」をまとめさせる。

高等学校 現代社会

(1) **私たちの生きる社会**
 ア 青年期と自己の形成
 イ 現代の民主政治と政治参加の意義
 ウ 個人の尊重と法の支配
 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方
 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割

(2) **現代に生きる自己の課題**
 (1) **現代に生きる自己の課題**
 (2) **人間としての在り方生き方**
 ア 人間としての自覚
 イ 国際社会に生きる日本人としての自覚

(3) **現代と倫理**
 ア 現代に生きる人間の倫理
 イ 現代の諸課題と倫理

(4) **現代の政治・経済**
 (1) **現代の政治**
 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法
 イ 現代の国際政治
 (2) **現代の経済**
 ア 現代経済の仕組みと特質
 イ 国民経済と国際経済

(3) **現代社会の諸課題**
 ア 現代日本の政治や経済の諸課題
 イ 国際社会の政治や経済の諸課題

(4) 他教科等の学習内容との関連

子どもには、様々な学習活動を通して、各教科等の学習目標を身に付けていくとともに、それぞれの教科等で学んだことを有機的に結び付け、学習活動全体の成果としての「生きる力」として実生活で生かしていくことが期待されます。しかし、一方で、学習段階が進んでいく中で、各教科ごとの学習を個々に切り離して捉えがちな様子もみられます。

このことから、小学校、中学校、あるいは高等学校での学習活動全体を通して、子どもに身に付けさせたい「生きる力」をよりよく実現するための手立てとして、相互に関連付けて捉えることができるような工夫が必要です。

社会科の授業においても、社会科で身に付けた能力や学習内容を他教科等の学習に生かす、他教科などで身に付けた能力や学習内容を社会科の学習に生かすといったことを、子ども自身が意識できるような学習活動を取り入れることが大切です。

例えば、社会科で「環境」について学習する場面では、それまでに子どもが国語科で「環境」に関連するどのような教材に触れてきたか、理科ではどうか、などといったことを踏まえて、その内容を社会科での学習活動の中に生かすことができます。また、算数・数学科で身に付けた数量関係を適切に処理し、表現する能力を、社会科の学習の中で積極的に活用することができます。

このような学習体験を積み重ねることで、各教科の学習内容を、横断的に、あるいは総合的に捉えたり、新たな学習場面で生かしていく力を付けたりすることにつながります。

社会科の学習の中で扱う様々な分野、様々な単元についての学習活動を、社会科としての学習のつながりを大切にして構成するだけでなく、他の教科等の学習内容とのつながりも十分意識して構成することが、子どものよりよい学習活動のためには大切なことです。

次ページからは、算数・数学科及び理科の学習指導要領に示された内容のうち、社会科の学習を通して育てたい能力や、学習内容との関連が深い部分を示しました。

算数・数学科については、算数・数学科の学習を通して身に付ける能力に、社会科の学習を通して身に付けさせたい「観察力や資料活用力、表現力」の基礎が含まれています。

理科については、社会科の学習内容のうち、主に地理的な内容に関する、地形や気候、自然災害、エネルギー資源、環境と人間生活などについての単元と関わりの深い内容が含まれています。

その他の教科での学習内容についても、社会科の学習と関連付けることができるものがあります。特に、言語活動を充実させていく上で、言語に関する能力を育成する中核的な教科である国語科との関連を図ることが大切です。また、国語科や外国語科では、環境や国際理解、平和などに関する教材が扱われます。中学校の音楽科や美術科では、日本や世界の様々な時代の作品が教材として取り上げられています。技術・家庭科には、環境と人間生活、高齢化社会、情報化社会、消費者問題などに関する内容があります。

それぞれの学校における子どもの学習過程を、他教科等も含めて広い視野で見渡して、社会科の学習活動を展開する上で生かせる内容があれば、それらを導入の場面などで適切に扱うことで、子どもの関心や意欲、能力をより高めたり、理解をより深めたりすることにつながるような指導を工夫することができます。

－参考－

○「社会科で育てる能力」と「算数科の学習内容」との関連（小学校）

「社会科」で育てる能力	「算数科」の学習内容
－第3学年及び第4学年－目標(3) ・地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする	－第2学年－ ○長さの単位（ミリメートル(mm)，センチメートル(cm)，メートル(m)） －第3学年－ ○長さの単位(キロメートル(km))，重さの単位(グラム(g)，キログラム(kg)) ○長さや重さについて，およその見当を付けたり，目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできること ○時間について理解できること ○資料を分類整理し，表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすること ・棒グラフの読み方やかき方
－第5学年－目標(3) ・社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする	－第4学年－ ○面積の単位 （平方センチメートル(cm ²)，平方メートル(m ²)，平方キロメートル(km ²)） ○正方形及び長方形の面積の求め方を考えること ○角の大きさの単位（度(°)）について知ること ○伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすること ・変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり，変化の特徴を読み取ったりする ○目的に応じて資料を集めて分類整理し，表やグラフを用いて分かりやすく表したり，特徴を調べたりすること ・資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べる ・折れ線グラフの読み方やかき方 －第5学年－ ○三角形，平行四辺形，ひし形及び台形の面積の求め方を考えること ○体積の単位（立方センチメートル(cm ³)，立方メートル(m ³)） ○立方体及び直方体の体積の求め方を考えること ○測定値の平均について知ること ○異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について，その比べ方や表し方 ・単位量当たりの大きさについて知る ○表を用いて，伴って変わる二つの数量の関係を考察できること ・簡単な場合について，比例の関係があることを知る ○百分率について理解できること ○目的に応じて資料を集めて分類整理し，円グラフや帯グラフを用いて表したり，特徴を調べたりすること
－第6学年－目標(3) ・社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味をより広い視野から考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする	－第6学年－ ○身の周りにある形について，その概形をとらえ，およその面積などを求めること ○円の面積の求め方を考えること ○角柱及び円柱の体積の求め方を考えること ○速さについて理解し，求めること ○メートル法の単位の仕組みについて理解できるようにすること ○縮図や拡大図について理解すること ○比について理解できること ○伴って変わる二つの数量の関係を考察すること ・比例の関係についての理解，また，式，表，グラフを用いてその特徴を調べる ・比例の関係をj用いて，問題を解決する ・反比例の関係について知る

- 資料の平均や散らばりを調べ、統計的に考察したり表現したりすること
 - ・資料の平均について知る
 - ・度数分布を表す表やグラフについて知る

○「社会科で学ぶ学習内容」と「理科で学ぶ学習内容」との関連 (小学校・中学校)

・地形や気候について

「社会科」で学ぶ学習内容

小学校

－第5学年－

- (1) 我が国の国土の自然などの様子
- イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活
 - エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

中学校

－地理的分野－

(1) 世界の様々な地域

ア 世界の地域構成

地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる

イ 世界各地の人々の生活と環境

世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる

(2) 日本の様々な地域

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(7) 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる

ウ 日本の諸地域

(7) 自然環境を中核とした考察

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業な

「理科」で学ぶ学習内容

小学校

－第5学年－

- 地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつこと
- 1日の雲の様子を観測したり、映像などの情報を活用したりして、雲の動きなどを調べ、天気の変化の仕方についての考えをもつこと

－第6学年－

- 土地やその中に含まれる物を観察し、土地のつくりや土地のでき方を調べ、土地のつくりと変化についての考えをもつこと
 - ・土地は、礫(れき)、砂、泥、火山灰及び岩石からできており、層をつくって広がっているものがある
 - ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがある
 - ・土地は、火山の噴火や地震によって変化する

中学校

－第1学年(第2分野)－

- 大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ、大地の変化についての認識を深めること
 - ・火山と地震
 - ・火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえる
 - ・地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する
 - ・地層の重なりと過去の様子
 - ・野外観察などを行い、観察記録を基に、地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだすとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定する

－第2学年(第2分野)－

- 身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見いださせるとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深めること
 - ・気象観測
 - ・校庭などで気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身に付けるとともに、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの変化と天気との関係を見いだす
 - ・天気の変化
 - ・霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関連付けてとらえる
 - ・前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて、その変化を暖気、寒気と関連付けてとらえる

どと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える

・自然災害について

「社会科」で学ぶ学習内容

小学校

－第3学年及び第4学年－

(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考える

－第5学年－

(1) 我が国の国土の自然などの様子

エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

中学校

－地理的分野－

(2) 日本の様々な地域

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(7) 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる

ウ 日本の諸地域

(7) 自然環境を中核とした考察

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える

・日本の気象

- ・天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえる
- ・気象衛星画像や調査記録などから、日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けてとらえる

－第3学年（第2分野）－

○身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深めること

・天体の動きと地球の自転・公転

- ・天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けてとらえる
- ・星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けてとらえる

「理科」で学ぶ学習内容

小学校

－第5学年－

○地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べ、流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつこと

－第6学年－

○土地やその中に含まれる物を観察し、土地のつくりや土地のでき方を調べ、土地のつくりと変化についての考えをもつこと

- ・土地は、礫(れき)、砂、泥、火山灰及び岩石からできており、層をつくって広がっているものがある
- ・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがある
- ・土地は、火山の噴火や地震によって変化する

中学校

－第1学年（第2分野）－

○大地の成り立ちと変化

大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ、大地の変化についての認識を深めること

・火山活動と火成岩

- ・火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえる

・地震の伝わり方と地球内部の働き

- ・地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する

－第3学年（第2分野）－

○自然と人間

・自然の恵みと災害

- ・自然がもたらす恵みと災害などについて調べ、これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について考察する

・エネルギー資源について

「社会科」で学ぶ学習内容

中学校

一地理的分野一

(2) 日本の様々な地域

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(ウ) 資源・エネルギーと産業

世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観させる

・環境と人間生活とのかかわりについて

「社会科」で学ぶ学習内容

小学校

一第5学年一

(1) 我が国の国土の自然などの様子

ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

中学校

一地理的分野一

(2) 日本の様々な地域

イ 世界と比べた日本の地域的特色

(ウ) 資源・エネルギーと産業

世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観させる

ウ 日本の諸地域

(イ) 環境問題や環境保全を中核とした考察

地域の環境問題や環境保全の取組を中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどについて考える

「理科」で学ぶ学習内容

中学校

一第3学年(第1分野)一

○科学技術と人間

エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う

・エネルギー

・エネルギーに関する観察、実験を通して、日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを理解する

・人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギーの有効な利用が大切であることを認識する

「理科」で学ぶ学習内容

小学校

一第6学年一

○生物と環境

・動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする

・生物は、水及び空気を通して周囲の環境とのかかわって生きている

中学校

一第3学年(第1分野)一

○科学技術と人間

エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う

・自然環境の保全と科学技術の利用

・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることを認識する

一第3学年(第2分野)一

○自然と人間

自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う

・生物と環境

・微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けてとらえるとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだす

・身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識する

・自然環境の保全と科学技術の利用

・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることを認識する